

お世話になった皆さんと喜び合いたい

～ 淡路ふくろうの郷開所10周年 ～

ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム
淡路ふくろうの郷
広報委員会

洲本市中川原町中川原28番地1
TEL:0799-25-8550
FAX:0799-25-8551

ホームページ

<http://www.normanet.ne.jp>

hyoufuku/

2006年4月1日に開所した淡路ふくろうの郷も今年2016年4月1日をもって、10周年を迎えます。

この10年間、聴覚障害者関係団体や地域の方々をはじめ、多くの方々に支えられここまでやってきました。

これまで支えてくださった皆さまと10年を振り返り、喜び合える場を下記のとおり計画しております。

なお6月については、2002(平成14)年10月27日、洲本市で開催された兵庫県ろうあ者大会において、当時の洲本市長の「応援します」から盛り上がりをもせた運動から、巡り巡って開所10周年を迎えるこの年に再び洲本市で開催される兵庫県ろうあ者大会に重ねて開催いたします。記念講演のみの参加もできます。ぜひ皆さま方と10年をお祝いし

ましよう。

○4月22日(金)
フランス料理を楽しむ会

締め切らせていただきました

○6月25日(土)

淡路ふくろうの郷故人を偲ぶ会
淡路ふくろうの郷開所10周年を祝つ会(兵庫県ろうあ者大会前夜交流会)

○6月26日(日)

兵庫県ろうあ者大会記念講演
講師 日本障害者協議会
代表 藤井 克徳様
講演テーマ
「戦争と障害者 ドイツにおけるT4作戦―ホロコーストの実験としての障害者の虐殺―」

3月28日(月)、淡路ふくろうの郷地域交流会の役員さんが鯉のぼりを建ててくださいました。今年のはり切ると虫が入らなくていいし、「竹は寒い時期に切ると長い」とか言いながら慣れた手つきで泳ぐ鯉のぼり、毎朝自治会長黒崎さんがあげてくださいます。

完成しました

ふくろうまなびあい文庫④

『濱田たき系
戦争の時代を生きぬいて』
頒価1,000円(税込)
(解説:冊子付き)



このDVDは神戸市聴力障害者福祉協会垂水支部・手話サークル「たるみ」が制作したものを整理編集したものです。戦争一色のなかで学びをあきらめない、濱田さんの姿勢に学びましょう

今年も桜がきれいだな
中川原ふれあいセンターで
お花見



▶外で食べるおたんこは格別!

◀桜をバックにはい、チーズ



ふくろう物語 ③

北風章子さんの

安心した生活を送りたい気持ちを支える

北風さんは、昭和5年生まれ86才です。ふくろうの郷に入居前は在宅でひとり暮らしをしていましたが、住んでいる住居に入浴設備がなく、腰や膝の痛みもあり、入浴も出来ない為に、週2回の訪問介護サービスを利用していました。聴覚障害もあり、何かあった時の連絡なども困難で「安心した生活を送りたい」との希望がありふくろうの郷に入居されました。

平成18年にふくろうの郷に入居されました。「安心した生活を送り、生活を楽しみたい」との希望が一番であり、ほぼ毎日のふくろう工房での仕事や、施設内外の行事にも多く参加され楽しまれていきます。

現在、職員が入浴の準備を行えば、その後は一人で入浴され、心身ともにリラックス出来ている様子があります。腰や膝の痛みは現在もありませんが、定期の整形外科の診察を受けていますし、何より「歩き続けたい」との気持ち

が強いので、無理のない程度に毎日歩いておられます。買物も好きで、月に2回は職員が付き添いで買い物に出かけて、好きなものを買われ

て満足そうにされています。今後、「安心した生活を送り、生活を楽しみたい」とことを希望されているので、ふく

ろうの郷で安心して過ごしてもらえるように、北風さんに寄り添い支援していきたいと思

います。入居前に不便だった入浴設備も、施設では整っており、



▲料理講座での北風さん
行事などにも
いつも積極的です



社会福祉法人 減免制度と ふくろうの課題

平成27年4月の介護保険改定により、補足給付(食費・居住費の減免)についての、要件に大幅な改定が実施されます。まず、一つに資産等が勘案されたことです。単身世帯で100万円、夫婦で200万円の預貯金や資産があれば、補足給付が受けられ

ず、毎月約13万円程度の負担が必要になります。これはすでに平成27年8月に実施されています。そして、いよいよ平成28年8月からは、補足給付の支給段階の判定に当たり、非課税年金(障害年金・遺族年金)が勘案されることになりました。これらが所得に勘案されれば、第2段階から第3段階になり、障害年金だけでは利用料が支払えなくなります。その場合には、社会福祉法人減免(一定要件を満たせば法人が負担して食費や居住費を軽減する制度)を利用することになります。(詳細は、平成27年6月号を参照)

しかし、平成26年度の全国高齢聴覚障害者福祉施設協議会(以下全聴協)が実施した調査では、当施設と同じ聴覚障害者の為の特養では、30%の入居者が、社会福祉法人減免の対象となる事が予想されており、減免されると、市町村と法人で、50%ずつの負担となります。法人負担が50万円近くになるとの試算があります。全聴協に加盟する特養の多くは、当事者が主体となった募金運動により設立され、年間200万円から450万円の借入金の返済が必要で、新たな法人負担の発生は深刻です。

そこで、全日本ろうあ連盟や他の聴覚障害者関係団体と協力し、厚生労働省との懇談会を開いたり、兵庫県や洲本市へも要望書を提出等の運動を進めています。

まずは、淡路ふくろうの郷のような高齢聴覚障害者の為の施設は、生活を支えてくれる親族等が少なく、結果として減免の対象となる入居者が集中しており、大きな負担となるということを、厚生労働省や保険者に周知し、運動を進めていくことが大切ではないでしょうか。その為の準備として、全聴協としても各施設の実態を調査し、まとめていく必要があります。

(相談員 竹原)

第17回淡路ふくろうの郷

家族の会

平成28年3月26日午前中に第17回淡路ふくろうの郷家族の会を開催しました。

今回は、役員の改選、退居された入居者の家族会の継続について討議されました。

賛助会員に退去家族を

これまで、入居されている入居者の家族が家族会の会員となって、活動してきましたが、昨年退去された、長塚淑子様より、「このままふくろうとの関係がなくなってしまうのはさびしい。家族の会に賛助会員の

ような形で、ふくろうに支援したい気持ちを継続させることはできないか」というお言葉をいただきました。家族の会の皆様も、そのお気持ちに賛同され、希望していただける方には賛

助会員として関わっていたできるようにすることにしました。

6月25日偲ぶ会

また、当施設でも、6月25日の10周年の記念式典に合わせ、10年間で入居していただいた方のご家族に呼びかけ、「偲ぶ会」を開催することにしています。それをきっかけに退去されたご家族へ案内し、賛助会員への参加を呼びかけたいと思います。

私たち職員としても、いつまでも関わりを持っていたいと思える援助を心がけ、ご家族との関わりを考えていきたいと思えます。

平成28年度役員

- 会長 廣地 タマハ様
- 副会長 大東 都志子様
- 会計 今川 清史様
- 会計監査 吉田 誠様
- 幹事 久野 誠様
- 幹事 長塚 寿子様

(賛助会員)

平成28年度

新任職員研修

4月1日から2日間にわたり新任職員研修が行われました。法人内の事業所の業務や自治会との交流や感染予防対策、高齢者虐待や身体拘束についての討論では日頃の困りごとまで話すことができ、同じ法人内でもそれぞれの事業所で働く立場での意見交換はとても新鮮でした。

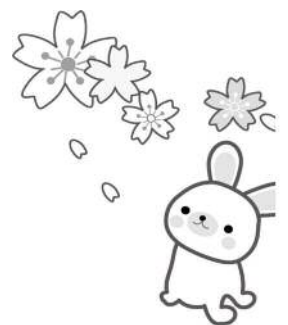
実習を終えて

居心地の良い生活空間

山崎 瞳さん

3月7日～11日までの間、ふくろうの郷で見学実習をさせて頂きました。実習前、最も不安だったことは、手話が出来ないことでした。あいさつ程度の手話は、学校で学びましたが実際に会話をするとなると別です。「おはようございます。私の名前は山崎です。よろしくお願ひします・・・。」と、その後の会話が詰まってしまう不安がありました。しかし、職員の方が一つ一つ通訳しながら教えて下さり、入居者様も言葉に出しながら手話表現をしてくれる方もいたので、ろうの方ともお話しすることが出来ました。それ以上に、職員の方も入居者様も廊下ですれ違った時に笑顔で会釈をしてくださいました。

皆様がそれぞれ自由に生活し、笑顔で過ごされているの



で、とても居心地の良い空間でした。手話も、皆様が教えてくださったのでちよつとした会話なら出来るようになりました。とても有意義な5日間を過ごせたと感じています。私も、ふくろうの郷の皆様のように「笑顔の絶えない言語聴覚士」になれるよう勉学に励みたいと思っています。

**淡路聴覚障害者
センター便り**

洲本市港2-26
洲本市健康福祉館3階

**定年後、生まれ故郷の
淡路島へ帰郷**

西山明廣さん(61歳)は、南あわじ市の生まれです。淡路ろう学校中等部卒業後、神戸の会社へ就職されました。三菱電機関連の会社で40年ほど勤め、昨年定年を迎え兄が暮らす実家に帰郷されました。たまたま淡路市内のイベントに参加していたところ昔馴染みのろう者と出会いセンターに繋いでくれました。

さっそくご自宅へ伺うと「仲間会いたい」「自分のできることを見つけたい」という思いがひしひしと伝わってきました。そこでこのころの家への通所をすめると、おのこのろの家に通っている仲間が西山さん宅に行き仕事などの話をしていたこともあり「見学に行ってみよう」と興味を持たれた様子でした。

**懐かしい仲間と
共に働きたい**

今年に入ってからおのこのろの家へ見学に行き、懐か

人との関わりが変化をもたらす。集える場の大切さ実感

しい仲間会って話をしたり、作業の様子を見たりすることで通ってみたいという思いが強くなり、2月から通所を開始することになりました。一緒に暮らすお兄様は「通い始めてから表情がとて明るくなった」「やはり同じろう者仲間と手話で話すのが楽しいようだ」と。すぐに週1回の通所を3月からは2回に増やし仕事にも熱心に取り組み始めています。主な仕事は仲間が折った箱の検品と数の確認で、仕事には黙々と作業をされており真面目な人柄が伝わってきます。



▲仲間が折った箱を検品する西山さん

**仲間と関わることで
刺激を受け変化**

変化が見られたのはご自宅の中だけではありません。おのこのろの家の中でも運動を心がけられるようになりました。

た。西山さんは持病があり、病気の悪化を防ぐためにも運動が大切なのです。職員が声掛けをしたわけではなく、通所している仲間との何気ない会話から本人の気づきへと繋がったのだと思われま。手話でコミュニケーションが図れるという環境が良い影響を与えたと思います。

**集団での仲間意識が
長所を引き出す**

西山さんだけでなく、他にも通所当初は一緒に作業をするだけであまり話そうとしなかった方が笑顔で話しかけるようになったり、難聴者、知的障害の方などコミュニケーション方法が違う人同士が自然と会話できるようになったりと集団の中で育まれる仲間意識がそれぞれの長所を引き出していると感じることがあります。これからも仲間が気兼ねなく集まることが出来る拠点に繋げられるようセンターとしても取り組んでいきます。



▲同世代の仲間とは仕事をしながらも話がはずみます。

センター28年度重点課題

- 中途失聴難聴者を対象に「聞こえ」の役割の重大さや保障のあり方などの啓発や支援の充実をすすめる。
- いつでも、どこでも相談でき、集える体制作りとして3市での拠点づくりへの取り組み。
- ろう者が問題、課題を自ら発信し、理解を広げていくための紙芝居などの教材づくりや発信できる場を広げる取り組み。
- センター20周年記念事業に取り組む。

**今後はサークルや地域で
さらに聴覚障害者への理解をすすめたい**



閉講式終了後、サークル会員と交流する受講生の皆さん(南あわじ会場)

平成27年度手話奉仕員養成講座の閉講式が3月17、18日と各会場で行われ、30名の方に修了証が交付されました。式では受講生が1年間のまとめとして講座の感想や今後の抱負や夢などを手話で発表し、その後、サークル会員と交流しました。さらなるステップへ進みたいという受講生が多く、今後はサークルや地域で聴覚障害者への理解を深められることを期待しています。

受講生の感想

・ろう者の方が生きてきた歴史を知ること、新しい言語(手話)を学ぶという認識で勉強できた。

・これからも手話を続けて勉強したい。

・ふくろうの郷で入居者の方のお話を聞いて衝撃を受けました。忘れられない話になりました。

2016年度 中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター 事業方針

「地域とともに歩み、高齢者・障がい者・子どもにとって優しく、生き甲斐と安心が感じられる、活力とふれあいに満ちた地域社会の実現を」を理念に事業を行っていきます。

★事業所全体

- (1) 人と人とのつながりを大切にした運営
 - ・各事業所に所属しながらも「ふれあいセンター」の一員として地域の方とのつながりを大切にしていきます。
- (2) 多世代交流・多機能型事業
 - ・中川原保育所・小学校と連携し今年度も「ふれあいセンター夏まつり」を行ないます。
- (3) 視察・見学・講演依頼等の積極的な受け入れ
 - ・今年度も引き続き見学・視察を積極的に受け入れる。
 - ・当センターの取り組み・事例紹介等を希望される団体の要望には可能な限りこたえていきます。
- (4) 「地域包括ケアシステム」の構築を関係機関と共にすすめます。
 - ・地域でのどのような動きがあるのかを把握し、共同できるところは共同する方向で進めていきます。

中川原高齢者・障がい者地域ふれあいセンター



〒656-0002
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2



★居宅介護支援事業所「桜ヶ丘」

- (1) 研修・学習会へ積極的に参加します。
 - ・担当者件数が増える事により全てに出席というのは難しい状態にあるが、引き続き横のつながりを大切に他事業所から情報提供してもらう等すすめていきます。
- (2) 担当者数30名を維持します。
 - ・中川原地域住民・島内聴覚障害者を中心に担当していきます。地域住民においてはふれあい便り等で居宅介護支援事業所の存在をアピール、聴覚障害者に関しては聴覚障害者センター、おのころの家と連携し担当・支援していきます。

★デイサービスセンター桜ヶ丘

- 利用者さんとの意見交換のできる事を考え、日々の取り組みの充実を検討します。中川原地域にお住まいの方をはじめ、聴覚障害に配慮し、利用者さん同士のつながりを大切にします。
- (1) 毎日、定員10名の利用を目指し、赤字を縮小できるように努めます。
 - (2) 利用者さんの「したいこと」を、聞きながら、取り組みの充実を考えます。
 - (3) 介護技術、コミュニケーション技術の向上を目指し、研修会議を行います。
 - (4) 中川原地域ふれあいセンター創設の意味、使命、役割を職員全員で共有します。

地域方から頂いた
手作り品の展示



恒例の「夏祭り」で
保育園児の歌披露



南あわじ市賀集で
玉ねぎ苗植え



★淡路聴覚障害者相談支援事業所

- (1) 本人が望む生活を一緒に考えていきます。
(検討・分析)
 - 1 状況把握 2 ニーズの整理 3 課題の明確化
 - 4 サービス計画書の作成 5 個別支援会議
 - 6 モニタリング
- (2) 継続的に支援していきます。
 - 1 相談内容を継続して支援していき、継続的な課題解決や適切なサービスの調整を行います。
 - 2 ライフステージに応じた切れ目のない支援をしていきます。(縦の連携)
保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等とも連携した地域支援体制の確立に取り組んでいきます。
(横の連携)

★おのころの家・おのころ屋

- (1) 利用者の方の加齢・高齢化など、多様なニーズに合った柔軟なサービスを提供します。
- (2) 商品開発プロジェクトチーム会議に定期的に取り組みます。
 - ・法人中長期計画構造による就労支援事業開拓をより具体化・明確化し、法人に提案します。
 - ・地域おこし、活性化したいという地域と法人が協働して進めます。
 - ・工賃向上計画の推進を図り、工賃アップを目指していきます。
- (3) 経営・運営する焼き菓子・パン製造販売の強化
 - ・季節に合わせた商品の販売・お店の特徴を生かした商品の開発を図ります。

続々・地域を語る 中川原むかし話

かるた 口説き

NO.21

北岡 肇

㊦ 妻と離縁状

五合枡の三下り半

あるところに、歳は40になる独りもの源五郎という人が住んでいました。朝はやくから魚を仕入れに行つて、その足で魚を売つて歩いていました。気前もよく頓智もよく、奇才にたけ商いをしながら人を楽しませ、喜ばせ、笑わせてとても人気者の源五郎さんでした。

近くに住む吉兵衛さん、源五郎さんに早くなんとかお嫁さんをと心にしていました。

そしてある日のこと、「源五郎さんや・・・ええ娘がいるやが、一つ合うて見いへんか・・・」

「そうかそうかありがとう、よろしゅうお願いします。」と吉兵衛さんにおまかせしました。

そして、吉兵衛さんの仲介によつて、「源五郎さんとおまつ」は晴れて夫婦となりました。二人は何不由なく楽しく暮らして

ていましたが四年がたち五年にもなるが、いつこうに子宝が授からない。ある日のこと、源五郎は女房のおまつに「子どもが生まれないのはどうしたもんじやお・。」と、どうとう思っていることを口にした。おまつも、かねがね子どもが出来ないのを苦にしていました。

源五郎さん、私も常日頃思うておりました。気の毒に堪えませんから、お互いに仲よく別れてはどうでしょうか・・・と言葉をかえしてしもうた。そしてどうとう別れ話がまとまり、おまつは「私が他所へ行くにしても別れの印がほしい」と話しました。

困った源五郎さん「お前も承知の通り私は無学、三下り半はよう書かん、困った困った」思案なげ首・・・。暫く考えて、そこは頓智男の源五郎さん、即座に台所用の五合枡を持ってきて「離縁の印ちゃ」と、おまつに手渡した。合点のいかないおまつ、何で五合枡と問ひ直せば「一生(一升)の別れじゃ」と頓智速妙に答えたと言う・・・。

福祉の就職フェアに参加しました

3月8日(火) 神戸サンポーホールで行われました、福祉の就職フェアに参加いたしました。

当日は、来年(平成29年)3月卒業予定の学生を中心に多くの求職者が来場



されていました。ふくろうの郷のブースにも9人の学生が来られ、熱心にお話を聞いていただきました。

介護職員募集のお知らせ

淡路ふくろうの郷では介護職員を募集しています。勤務時間(短時間勤務)などお気軽にお問い合わせください。

ひょうご聴覚障害者福祉事業協会

TEL 0799-25-8550

FAX 0799-25-8551

北村勝さんより絵画を頂きました



ふくろう人形製作中

ふくろうの郷10周年にむけてふくろう人形の製作に取り組む入居者の皆さん

